

## Ⅰ 「教育内容」についての検証結果及び改善策

園の教育方針について、貫くべきところと社会状況を踏まえて柔軟に帰るべきところを毎年再考・見直しする必要がある。そのため、教育分野の情報は勿論、世の中の動きをキャッチできるよう、新聞や雑誌に少しでもめに通すようにしなければならない。

どんなに大切な事を考えていることでも、園長が一方的に職員や保護者に言っても伝わらないし、伝えるに当たっては、相手の信頼関係や相手の話をまずはよく聞くことを肝に銘じたい。

環境になる保育について、もっと職員と議論し、園内に定着していくようにしたい。

遠州地区私立幼稚園協会の研究発表の指定園となり、例年より園内研修が深まったが、同時に、いかに職員間での本音の意見交換が難しいかを改めて知った。

## Ⅱ 「地域の幼児教育センターとしての役割」についての検証結果及び改善策

未就園児の子育てサロンの内容がマンネリ貸してきていたので、来年は新しい工夫を考えたい。

また、未就園親子に食事を出したり、ただ、いい気持ちで遊んで帰るようなサービスだけにならないよう、必要なこと、注意すべきところは上手に伝えるようにしなければいけない。

## Ⅲ 「安全管理」についての検証結果及び改善策

危機管理についてはかなり意識をしてきたつもりだったが、設置基準、消防法などについての自分の中での押さえが平成23年度もできなかった。

## Ⅳ 「人事管理」についての検証結果及び改善策

非常勤職員の健康診断についてきちんと把握できず、指摘されたので、平成24年度は診断結果のコピーを園に提出してもらうようにする。

非常勤職員のおかげもあり、正規職員の負担がかなり減り、早めに帰宅できるようにはなっている。体調をくずしてや済む職員がとても少なく、園長としてはありがたい。しかし、パソコン業務の事務職員の頭痛がひどく、どのように負担を分散すべきか悩んでいる。

## Ⅴ 「財務管理」についての検証結果及び改善策

施設設備や予算の使い方等、事務方と情報交換しながら計画的に行う必要がある。

## 「財務分析」についての検証結果及び改善策

昨年も触れたように、人件費比率が高くなる傾向だが、経験年数が増え保育の質は上がってくる、そのバランスが大切と考える。

また、障害児も積極的に受け入れているため、非常勤職員が必要となってくるが、今後はその辺りについて検討課題としていく。